

序 「紀要」第10号の発行にあたって

秩父市教育委員会教育長 前 堅 進 一



秩父市教育委員会では、未来の秩父を担う人材の育成と特色ある元気な学校づくりを推進し、「笑顔とあいさつ 思いやりと感動 志高き 秩父大好き人間の育成」をめざし、秩父市学校創造スーパープランに基づき、特に基礎学力の向上を中心に様々な施策を展開しております。

今年度、秩父市教育研究所は、学校教育支援並びに各種研修会の開催や調査研究活動及び小・中学生等を対象とした講座などを行っております。また、教育研究所内に設置された教育相談室では、4人の教育相談員と1名の臨床心理士を配置し、各中学校に配置しているさわやか相談員等と連携しながら、いじめや不登校等の未然防止や早期解決に向け、教育相談事業の充実に努めております。また、埼玉県スクールソーシャルワーカー1名を配置し、児童生徒の環境改善に向けて、関連機関との連携を図っております。

秩父市ならではの教育改革と特色ある元気な学校づくりをめざして研修会等を主催し、教職員の資質向上に努めております。その中でも学力向上を図る取組として、学級経営力を高める「若い教師のための学級経営講座～秩父師範塾～」、理科の授業力を向上させる「小学校の先生が基礎を学ぶ理科講座」を行うとともに、「小学校外国語活動研修会」、「中学校英語科教員授業力向上研修会」を主催し、英語教育の強化も図りました。併せて学力向上推進委員会を主催し、各校の研究主任が各種学力調査や市独自で行った実態調査等の結果検証を行い、秩父市学力向上のための重点項目である「授業改善」「家庭学習の充実」「読書時間の確保」に向けた具体的な取組について研修を行いました。また、今年度、「中堅教員研修会」を新たに開講し、学校の中核を担うミドルリーダーとして求められる教師力を高める研修を実施しました。

子どもたちの学びへの興味・関心を高め、学習に自主的に取り組む機会を提供する事業も行っております。地元の県立高等学校と連携を図った「学力向上チャレンジ・スクール」、「小学生と高校生ふれあい体験」、教職を目指す大学生が中学生の自主学習を支援する「フォローアップ・スクール」を行いました。小学生対象の「理科おもしろ実験教室」では、子どもたちの幅広い理科への興味・関心を高めるため、物理・化学・生物・地学の4コースを開設しました。また中学生を対象に「英語パワーアップ講座」を開設し、英語検定合格を目指し、英語の学力向上を図りました。

この他には、「子どもちちぶ学士・博士」等の称号授与を行い、郷土秩父を愛し、自信と誇り、そして夢をもって学び続ける子どもの育成に努力しております。

以上のような1年間の活動の経過や成果等を、この「紀要」第10号に掲載いたしました。今後とも、教育研究所の充実・発展のために所員一同全力を尽くしてまいりますので、多くの皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

これまでの様々な諸事業に対しましてご支援ご協力を賜りました関係の皆様方に心から厚く御礼申し上げます、あいさつといたします。

目 次

序

目 次	2
I 教育研究所の概要	3
1 基本方針	
2 組織構成	
3 事業内容	
II 訪問指導	5
1 北部教育事務所との連携による学校訪問	
2 要請訪問	
3 研究指定校・委嘱校等支援	
① 地域に応じた学力向上推進事業.....7	② インターナショナルセーフスクール9
③ 体力課題解決研究指定校11	
III 研修会・講座・委員会	16
1 教師力向上研究研修会事業	
① 教師力向上研修会『秩父師範塾』16	② 中堅教員研修会18
2 授業づくり研修講座	
① 小学校の先生が基礎を学ぶ理科講座19	② 外国語活動研修会20
③ 中学校英語科教員授業力向上研修会21	
3 個を大切にする研修講座	
① 生徒指導・教育相談中級研修会22	② さわやか相談員研修会23
4 チャレンジスクール事業	
① 学力向上チャレンジスクール25	② 小学生と高校生のふれあい体験.....28
③ フォローアップ・スクール32	④ 理科おもしろ実験教室34
⑤ 中学生英語パワーアップ講座38	
5 初任者研修・経験者研修	
① 初任者研修施設体験研修41	② 5年経験者研修社会貢献活動体験研修.....44
6 推進委員会	
① 学力向上推進委員会45	② 体力向上推進委員会47
IV 外国語指導助手（ALT）配置事業	54
V 教育相談事業	55
VI 秩父大好き人間育成事業	59
① 子どもちちぶ学士・子どもちちぶ博士 ...59	② 秩父市子ども伝統芸能伝道師・子ども芸術文化伝道師63
③ 秩父市子どもスポーツマスター66	
あとがき	68

I 教育研究所の概要

1 基本方針

秩父市教育研究所は、教育に関する基本的調査並びに教育の理論と実践に関する研究と教育関係職員の研修を行うことを目的として、平成17年4月1日に設置された。

教育研究所では、秩父市の教育の現状と課題を踏まえ、21世紀に生きる子どもたち一人一人の可能性を最大限に伸ばし、「秩父大好き人間」をはぐくむための教育研究を「秩父市学校創造スーパープラン」に基づき推進している。秩父市教育研究所条例では、次のような業務が規定されている。

- (1) 教育に関する専門的又は技術的事項の調査研究に関すること。
- (2) 教育関係職員の研修に関すること。
- (3) 教育相談に関すること。指導業務に関すること。
- (4) 教育に関する資料の収集及び提供に関すること。
- (5) その他教育の充実と振興を図るために必要な事項。

2 組織構成

秩父市教育研究所条例及び同条例施行規則に基づき、所要の職員が配置されている。本年度は、主任指導主事を兼務する所長のほか、指導主事2人、行政職員1人の合計4人で構成されている。また、学校教育課の指導主事を含めて7人の指導主事が連携を図りながら、学校等への指導業務に当たっている。

このほか、教育研究所内に、秩父市教育相談室が設置され、4人の教育相談員が児童生徒や保護者への教育相談並びに適応指導教室（ひまわり教室）に通級する児童生徒の指導及び学校等への指導業務に当たっている。

3 事業内容

(1) 学校訪問等による指導

ア 北部教育事務所との連携による学校訪問（p. 5 参照）

埼玉県教育局北部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当と連携し、教育課程（学習指導・教育計画等）、学校経営等に関する指導・支援を実施する。

イ 学校からの要請による訪問指導（p. 6 参照）

小・中学校、幼稚園からの要請に基づき、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間及び幼稚園の各領域に関する授業研究並びに校内研修テーマに基づく研究・実践への指導・支援（1校につき2回程度）を実施する。

ウ 研究指定校・委嘱校等支援（p. 7 参照）

研究指定校・委嘱校等としての研究に対して、学校等の要請に応じて指導・支援を実施する。

エ 教育相談員（スクールソーシャルワーカー）による訪問指導

不登校（傾向）児童生徒に関する情報交換を中心に、学校経営全般について協議し、学校教育の充実を図るため、各学校への指導・支援を実施する。（各学期1回）

(2) 研修会・講座・委員会

事業名・講座・委員会名	研修会名等	回数	参加者延人数
教師力向上研究研修会事業	若い教師のための学級経営講座『秩父師範塾』	5	97
	中堅教員研修会	3	55
授業づくり研修講座	小学校の先生が基礎を学ぶ理科講座	1	21
	外国語活動研修会	1	20
	中学校英語科教員授業力向上研修会	1	24
個を大切にしている研修講座	生徒指導・教育相談中級研修会	3	27
	さわやか相談員研修会	8	80
チャレンジスクール事業	学力向上チャレンジスクール	2	134
	小学生と高校生のふれあい体験	8	170
	フォローアップ・スクール	2	85
	理科おもしろ実験教室	1	149
	英語パワーアップ講座	2	50
初任者研修・経験者研修	初任者研修施設体験研修	3	48
	5年経験者研修社会貢献活動体験研修	2	18
推進委員会	学力向上推進委員会	3	75
	体力向上推進委員会	2	52
合 計		47	1,105

(3) 外国語指導助手（ALT）配置事業（p. 53参照）

(4) 教育相談事業（p. 54参照）

(5) 教育に関する調査・研究

- ア 各種教育課題に関する調査・研究
- イ 指導資料等の編集
- ウ 各種調査の実施
- エ 教育関係資料の整備

(6) 教育の充実と振興

ア 秩父大好き人間育成支援（小・中学生対象）

- (ア) 「子どもちちぶ学士（ジオ学士）・子どもちちぶ博士（ジオ博士）の称号」を授与する。
- (イ) 「秩父市子ども伝統芸能伝道師・子ども芸術文化伝道師の称号」を授与する。
- (ウ) 「秩父市子どもスポーツマスターの称号」を授与する。

イ 紀要及び教育実践・研究集録等の編集・発行

- (ア) 学校や教職員の研究・実践の概要を「秩父教育」として編集・発行する。
- (イ) 秩父市教育研究所の事業内容を「紀要」として編集・発行する。

Ⅱ 訪問指導の概要

1 北部教育事務所との連携による学校訪問

月	日	曜	学 校 名	公 開 授 業 数	研 究 協 議 分 科 会 数	校 内 研 修 テ ー マ
5	13	火	高 篠 小	1 6	6	自ら進んで運動に取り組む、健やかな心と体を持つ児童の育成
	20	火	高 篠 中	1 2	5	確かな学力の育成
6	2	月	秩父第二中	1 8	8	安心・安全な教育環境づくり
	9	月	大 滝 中	7	4	自ら考え、自分の夢を語る生徒の育成
	20	金	影 森 中	1 4	6	考え、話し合い、学び合う学習の推進
	23	月	荒 川 東 小	1 1	5	学力向上と豊かな心の育成
	25	水	荒 川 幼	2	1	のびのび保育を実践し、保護者・地域社会に信頼される荒川幼稚園
	27	金	原 谷 小	2 6	1 1	特別支援教育の視点に立った授業の改善
7	4	金	大 田 小	7	4	学力向上を目指した学習指導の工夫
9	4	木	吉 田 小	1 5	6	進んで学び合い、心豊かでたくましい子の育成
	26	金	西 小	1 8	8	言語活動を充実させ、児童の思考力・表現力を伸ばす指導方法の工夫
	30	火	秩父第一小	1 0	5	運動の楽しさや喜びを味わい、共に学ぶ児童の育成
10	10	金	吉 田 中	1 3	5	基礎学力・学習意欲の向上を目指し、互いに高め合う生徒の育成
	17	金	吉 田 幼	6	1	生活経験の幅を広げながら、食への興味を深める
	24	金	秩父第一中	2 9	1 3	思考力・判断力を身につけ、学習に意欲的に取り組む生徒の育成
11	5	水	尾 田 蒔 小	1 4	6	伝え合う力を身につけさせる指導の工夫
	13	木	大 田 中	8	4	個に応じたわかりやすい授業の創造
	18	火	南 小	1 2	5	安心・安全な学校の創造
	19	水	久 那 幼	3	1	自立に向けて3つのめばえの効果的な実践方法の工夫
	21	金	影 森 小	1 7	7	「考え、話し合い、学び合う学習」の推進
12	8	月	尾 田 蒔 中	1 3	5	すべての生徒が嬉々として登校できる学校の創造
	9	火	花 の 木 小	1 8	7	児童が気付き主体的に活動し、安心・安全で思いやりあふれる教育環境づくりの工夫
	10	水	久 那 小	8	4	確かな学力を身につけ、生き生きと表現活動に取り組む児童の育成をめざして
1	19	月	荒 川 中	1 2	5	学力向上と豊かな心の育成
	28	水	荒 川 西 小	7	4	学力向上と豊かな心の育成

2 要請訪問の概要

月	日	曜	学校名	学年等	教科等	単元・題材名等
5	19	月	高篠小	3	体育	跳び箱運動（器械運動）
	23	金	吉田中	3	英語	We're Talking② どうかしましたか
	26	月	荒川中	—	キャリア	キャリア教育（講義）
6	4	水	大田中	—	キャリア	キャリア教育（講義）
	5	木	高篠小	6	体育	バスケットボール（ゴール型）
	18	水	花の木小	2	学級活動	廊下の歩き方を考えよう ～けがを防ぐ～
			西小	5	算数	合同な図形
	19	木	吉田小	1	学級活動	じょうずに たべよう
	24	火	吉田幼	—	保育	生活経験の幅を広げながら 食への興味を深める
			尾田蒔中	3	数学	平方根「根号をふくむ式の計算」
	25	水	荒川幼	—	保育	気になる幼児をともに支えあうために
	30	月	久那小	4	国語	物語の作り方をくふうしよう
大田小			4	総合	野菜の育て方や料理のしかたを調べよう	
南小			—	ライフスキル	ライフスキル教育（講義・演習）	
7	1	火	荒川東小	3	算数	あまりのあるわり算
	2	水	吉田小	4	体育	育ちゆくからだどわたし
	3	木	久那幼	—	保育	自立に向けて3つのめばえの効果的な実践方法の工夫
			秩父第一小	2	保健体育	多様な動きをつくる運動遊び
	7	月	影森小	5	ライフスキル	自転車にするか、バスケットボールにするか？
			大滝中	2	数学	1次関数
10	木	西小	6	国語	日本語のひびきを味わう	
9	29	月	秩父第二中	1	ライフスキル	相手を励ます言動
10	2	木	原谷小	2	算数	形をしらべよう（三角形と四角形）
	9	木	西小	2	算数	かけ算 新しい計算を考えよう
	21	火	尾田蒔小	4	国語	花を見つける手がかり
			南小	6	ライフスキル	じょうずな話しの聞き方
	23	木	影森中	1	数学	比例と反比例の利用
	27	月	西小	3	算数	少数 はしたの大きさの表し方を考えよう
影森小			4	理科	物の体積と温度	
30	木	高篠小	4	体育	セストボール	
11	10	月	原谷小	5	体育	跳び箱運動
	11	火	西小	4	国語	ごんぎつね
			尾田蒔小	1	国語	のりもののことをしらせよう
	12	水	荒川幼	—	保育	気になる幼児をともに支えるために
	17	月	高篠中	1	保健体育	ソフトボール
			大田中	1	ライフスキル	上手な話の聞き方
	19	水	花の木小	5	体育	けがの防止
	20	木	秩父第一中	3	美術	砂絵でアート ～世界で一つだけの時計～
			尾田蒔中	2	ライフスキル	友情を築く
21	金	荒川西小	6	道徳	2-(3) 信頼友情「共に生きるために」	
		秩父第一小	6	体育	フラッグフットボール	
26	水	吉田中	1	国語	中国の名言－故事成語－	
12	16	火	荒川中	1	社会	中世の日本
1	20	火	西小	1	国語	お手がみ
	22	木	秩父第一中	1	国語	日本語の音声
2	9	月	影森中	2	国語	立場を決めて意見を述べるには

3 研究指定校・委嘱校等支援

1 地域に応じた学力向上推進事業【西小学校への支援】

1 概要

秩父市教育委員会が埼玉県教育委員会から研究委嘱を受け、秩父市立西小学校がモデル校の指定を受け、平成25年度から平成27年度までの3か年で行う事業である。学力向上の課題に取り組み、地域の実情に応じた学力向上の手法を見出し、児童生徒の学習意欲や理解力等の向上を図る。

2 主な取組・内容等

(1) 教育委員会における取組

① 学力向上推進委員会の開催

秩父市学力向上推進委員会に県教育委員会の指導主事等を招聘し、年間3回開催した。(p.44参照)

(2) モデル校における取組

① 児童の基礎学力向上に向けた取組

・ 家庭学習習慣の定着

「家庭学習の手引き(冊子)」を全家庭に配布し、活用率100%を目指した。

・ 学習支援員の活用

児童の学習意欲を高めたり、きめ細かい指導をする上で有効であり、「支援員用マニュアル」を作成し、支援員の活用方法を確立した。

・ 「ステップアップタイム」の設定

毎週木曜日の放課後の時間25分を補習の時間として確保し、学力の底上げを図った。

② 児童の思考力・表現力向上に向けた取組

・ 西小学びのスタンダードの確立

算数科、国語科における授業の流れをスタンダード化し、すべての学年すべての教員が同じ流れで授業を行うことを目指し、研修を行った。

・ ノート指導の充実

国語科、算数科のノートの取り方は学校全体を統一して行った。学習内容と思考過程が明確で自らの学習に活用できるノート指導の工夫を行った。

③ 教師の授業力向上に向けた取組

・ 授業研究会の開催

西小学校における年6回の授業研究会(要請訪問)に、県教育委員会の指導主事と訪問した。またそれぞれの授業研究会に伴い、指導案検討を含めた模擬授業、同学年における先行授業をそれぞれ行い、全教職員が公開授業を行い、授業力の向上に努めた。

- ・ その他の授業等における共通理解、共通行動の確立
板書指導、発問の工夫、学び合いの時間の活用、授業とリンクしたノート指導（算数科、国語科）等

④ 秋田県研究校訪問

秋田県研究校の訪問を西小学校教諭2名で行い、その成果を秩父市学力向上推進委員会で周知した。

3 授業研究会概要

第1回授業研究会	6月18日（水）	5年生算数	田代 眞奈 教諭 逸見 正子 教諭
第2回授業研究会	7月10日（木）	6年生国語	宮原 大輔 教諭
第3回授業研究会	10月9日（木）	2年生算数	持田 翔平 教諭
第4回授業研究会	10月27日（月）	3年生算数	犬木 亮 教諭 高橋 天 主幹教諭
第5回授業研究会	11月11日（火）	4年生国語	坂本裕紀子 教諭
第6回授業研究会	1月20日（火）	1年生国語	坂本 優子 教諭

4 秋田県の学校の訪問概要

(1) 日 程

平成26年11月16日（日）～18日（火）

(2) 視察校

秋田県秋田市立広面小学校（17日午前）

秋田県秋田市立勝平中学校（17日午前）

秋田大仙市立協和小学校（18日午前）

(3) 視察参加者

秩父市立西小学校 主幹教諭 高橋 天

秩父市立西小学校 教 諭 青山千晶

5 成果と課題

(1) 成 果

- ・ 授業研究会を通して全員の教職員の授業改善への意識が高まった。
- ・ 西小学びのスタンダードを実施することで、流れがわかりやすく、安心して授業を受けられる児童が増えた。また、授業中の発表や話し合いをすることで自分の考えや意見を言える児童が増えてきた。
- ・ 国語科、算数科のノート指導を全校で統一し、思考過程や既習内容がわかるノート作成を推進し、自分の考え等を記入できる児童が増加した。
- ・ 家庭学習を「ほとんどしない」という児童が昨年度よりも4.8%減少した。

(2) 課題・次年度への検討課題

- ・ 表現力や思考力の変容を見取る基準を作り、明確な効果の検証を図ること。
- ・ 家庭学習の効果的な啓発を図り、より実施率を高める手立てを講じること。
- ・ モデル校として取り組んだ効果的な内容をより多くの学校に発信していくこと。

2 インターナショナルセーフスクール【秩父第二中学校区への支援】

1 概要

秩父市教育委員会が秩父第二中学校区（秩父第二中学校、花の木小学校、南小学校）へ研究委嘱を行い、平成27年度にISS（インターナショナルセーフスクール）の認証取得を目指す。ISSは、セーフコミュニティの学校版国際認証であり、学校における安全対策が中心的な課題である。

2 担当者会議

(1) 第1回ISS推進校担当者会議

- ア 日時 平成26年4月16日（水）15：10
- イ 場所 花の木小学校 研修室
- ウ 参加者 各校1名～4名、危機管理課職員、教育研究所員
- エ 内容 各校による説明、今後の取組についての協議

(2) 第2回ISS推進校担当者会議

- ア 日時 平成26年5月22日（木）15：10
- イ 場所 南小学校 校長室
- ウ 参加者 各校1名～4名、危機管理課職員、子ども安全まちづくりパートナーズ職員、教育研究所員
- エ 内容 ISS国際審査団の学校訪問について協議

(3) 第3回ISS推進校担当者会議

- ア 日時 平成26年7月15日（火）15：10
- イ 場所 秩父第二中学校 視聴覚室
- ウ 参加者 各校3名、危機管理課職員、教育研究所員
- エ 内容 ISS学校訪問の振り返り、今後の取組について質疑応答

(4) 第4回ISS推進校担当者会議

- ア 日時 平成26年12月19日（金）16：00
- イ 場所 花の木小学校 研修室
- ウ 参加者 各校1～3名、危機管理課職員、教育研究所員
- エ 内容 ISS認証現地審査及び認証式の日程検討、質疑応答

(5) 第5回ISS推進校担当者会議

- ア 日時 平成27年3月19日（木）15：30
- イ 場所 南小学校 図書室
- ウ 参加者 各校1～3名、危機管理課職員、教育研究所員
- エ 内容 ISS現地審査申請書の作成について、今後の取組について質疑応答

3 学校訪問及び研修会

(1) I S S 国際審査団の学校訪問

ア 期 日 平成26年5月30日(金)

イ 場 所 I S S 推進校3校

ウ 参加者 教育長、危機管理課職員3名、教育委員会職員2名、教育研究所員2名

(2) 日本セーフコミュニティ I S S 研修会

ア 日 時 平成26年8月5日(火) 10:00

イ 場 所 豊島区朋有小学校 図書室

ウ 参加者 各校1名~5名、危機管理課職員、教育研究所員

(3) I S S 研修会

ア 期 日 平成26年8月11日(月)、12日(火)

イ 場 所 I S S 推進校3校

ウ 訪問者 日本S C 推進機構：白石代表理事、今井事務局長、危機管理課職員、
教育研究所員

ウ 内 容 各校による取組内容説明、白石代表理事からの指導助言

(4) I S S 日本S C 推進機構の学校訪問

ア 期 日 平成26年11月25日(火)、26日(水)

イ 会 場 I S S 推進校3校

ウ 訪問者 日本S C 推進機構：白石代表理事、今井事務局長、危機管理課職員、
教育研究所員



南小学校



秩父第二中学校



花の木小学校

4 I S S 推進校視察

(1) 厚木市立睦合東中学校 I S S 認証事前審査視察

ア 期 日 平成26年10月29日(水)

イ 参加者 秩父第二中学校1名、危機管理課職員3名、教育研究所員2名

(2) 北本市立中丸小学校・宮内中学校 I S S 認証事前審査視察

ア 期 日 平成26年11月12日(水)

イ 参加者 各校1名~3名、危機管理課職員3名、教育研究所員2名

(3) 北本市立中丸小学校・宮内中学校 I S S 認証現地審査視察

ア 期 日 平成27年3月6日(金)

イ 参加者 各校2名~4名、危機管理課職員2名、教育研究所員2名